



安善寺本堂

蔵王山安善寺

『鐘の音と共に変わらぬ教え』

◆編集・発行人◆
近藤真弘

T940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉
山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子
近藤久美子
印刷・株式会社印刷

ご家族の皆さままでご覧下さい

泰忍 弘

今年もはや七月、暑さも本格的になり来月にはお盆を迎えます。安善寺では今年に入り半年間で庭園型樹木葬墓地『翠緑の小径』の造立、ホームページの開設など新たなことに取り組んでまいりました。

詳細は次頁からをご覧ください。昔はお寺がホームページなんてすごい時代になったな、と思いましたが、今では多くのお寺がホームページを持っておりまして。時代の流れと共に今までの当たり前が当たり前ではなくなり、新たな当たり前が生まれる。まさに無常の世の中だと実感いたします。

先日、本堂を掃除しながら何気なく本堂の西序(正面向かって左側)にある大鑿(大

きな鑿子)に目がきました。普段あまり気にして見たことはなかったのですがその大鑿には文字が刻まれていました。その文字は「文化六己巳歳五月吉旦 越后長岡蔵王山安善寺什物 幻住本瑞代」です。その他にも造った方の名前もありました。戒名も刻まれていたので、供養のために寄進されたものだと思います。文化六年は西暦でいうと1809年で220年前です。本瑞代とあるので安善寺十九世高富本瑞和尚が住職の時代の物です。ご存じの方も多いと思いますが、安善寺の本堂は慶応4年(1868年)の戊辰戦争の際に焼失いたしました。その後明治の初めに再建されたのが現在の本堂です。先ほどの大鑿が納められたのが戊辰戦争の約60年前ですから焼失前の本堂の時から安善寺にあったことになりました。伝え聞く話によると戊辰戦争で長岡城落城の後、官軍が残った兵士の反撃の拠点にならないように本堂並びに庫裏に火を放ったがその前に本尊様を含む仏具等を避難させた



1809年(文化6年)寄進の大鑿(だいけい)

といわれています。焼失を免れたことは大変ありがたいこととであり、200年以上も安善寺の本堂で鐘の音を響かせているこの大鑿は安善寺にとって大切な宝の一つです。個人的にも私はこの大鑿の音が好きで、特に大きな大鑿の音が徐々に小さくなる余韻の音はとても聴き心地が良いです。鐘といえば平家物語の冒頭は有名な「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり…」から始まります。諸行無常の世の中、時代の流れと共に変わりゆくことも多々ございます。しかしながらその中で不変であり続けるのは、お釈迦さま、道元禅師、瑩山禅師や祖師方の教えです。安善寺では今後鐘の音と共に変わらぬ教えを伝え続けていきます。

檀家総代就任にあたり

高橋 潔



安善寺の檀家総代を務められた小林政雄様がこの度総代を降りられることになりました。長年にわたり多大な貢献を頂き檀家一同只々感謝でございます。

その後任ということでは私、高橋潔へ白羽の矢が立ちました。恐れ多いということでも固辞させていただいたのですが、お寺の会計に係っているのだから了解して頂くしかありませんとのことになりました。お引受けを受けることになりました。

私の父は魚沼の守門村から長岡に出て来ましたが、長岡に骨を埋める気持であったこととで実家の菩提寺から安善寺

を紹介して頂いた時からのお付き合いになります。

浅学非才ではありますが自分なりの果たせる責任は全うしていきたいと覚悟をしたところでもあります。

安善寺もご住職が交代された世代交代がされました。時間の流れとともに檀家の皆様も世代交代がされてゆくことでしょう。

安善寺も樹木葬という新たな取り組みが始まりました。宗派を問わない永代供養のやり方や葬儀の仕来り等も変わってゆくのもかもしれません。これからの安善寺をお檀家の皆様と一緒に見詰め発展させることが出来たらと願っております。



東堂和尚のひとりごと (第六回)

「もやもや感」を忘れるとき

四年に一回のスポーツの祭典・平和の祭典『オリンピック』私が小・中学生の頃、「参加する事に意義があると教えられたオリンピック」。この名言はペンシルベニアの司教が述べられた「オリンピックにおいて重要なのは、勝利することよりも、むしろ参加したことであろう」との至言を、クーベルタンが紹介し、人間において重要なことは、成功することではなくて努力することであると。

又、人間における肉体と精神の調和を一つの理想とし、参加までの過程が大事であり、たとえ五輪に参加できなくとも、目指す過程において、参加した場合でも世界中の人々と付き合うこと、すなわち国際交流、勝敗だけではなくルールを遵守し、正々堂々と全力を尽くす「フェアプレーの精神」で平和の世界の実現に寄与すると。本来、オ

あるそうだ。選手の感染は自己責任だそうだ。五輪関係で多数の人々が感染した場合の責任はどが、誰が…。

「安心・安全」の大会といわれても、水際対策への不安、選手団の特例入国問題、今後「デルタ株・デルタプラス」への移行と同時に五輪による人々の移動の増加による感染拡大に不安を抱く人が多い等。主にコロナウイルス感染への不安が理由と思われるがIOC関係への疑問からの反対も多いようだ。安全の為に無観客問題、それらを決めるのは政府・東京都・IOC? 五輪中止の決定権はIOCに

あるそうだ。選手の感染は自己責任だそうだ。五輪関係で多数の人々が感染した場合の責任はどが、誰が…。

「見えない」「分からない」「もやもや感」こんな時、庭で無心に餌をついばむカラス、スズメ等を見ていると、こちら無心になり、世の中の「もやもや感」も忘れます。



安善寺の庭で餌をついばむカラスとスズメ

安善寺庭園型樹木葬 『翠緑の小径』 完成



入り口に設置された銘板



苔むす和風庭園をイメージ



各所には観音さまやお地藏さまを安置

安善寺庭園型樹木葬墓地『翠緑の小径』が完成し、4月27日に落成式を行いました。
和風庭園をイメージし、全体的に苔を張り巡らせ、分割された五か所にはそれぞれ観音さまとお地藏さまを安置い

たしました。中央の小径は広々とした幅をとり、曲線の道を作ること庭園を散歩するような雰囲気があります。翠緑の小径には参道側と正面玄関側からも出入りすることができます。また、この度玄関正面に取りました車庫が老朽化したため取り壊し、従来前の庭と合わせて新たな庭を造園いたしました。こちらに

は石のテーブルと椅子を設置いたしましたのでお参りの際には休憩にご利用いただけたいと思います。
『翠緑の小径』の詳細に關しましては(株)放光かお寺にお尋ねください。お寺のホームページからも詳細をご覧いただけます。
フリーダイヤル (株)放光
0120-811-112



車イスでもすれ違うことができる広々とした通路

ご近所の石塚様より完成を
祝して俳句を頂戴しました

翠緑苑 永遠の浄土よ 祈り籠め
翠緑の 小径の先の 浄土かな



落成式

安善寺よろず掲示板

安善寺ホームページ開設

この度安善寺のホームページを開設いたしました。ホームページではお寺の年間行事や坐禅会・写経会の予定、仏像の紹介や境内の紹介、境内に咲く花々など多彩な内容をご覧になれます。新着情報では各種法要のご報告や最新の情報をお届けする予定です。その他過去の「季刊蔵王山安善寺」をご覧いただくこともできます。

さらに「安善寺の概要」欄からはドローンで撮影した空撮映像も見る事ができます。ホームページの最後にはお問合せフォームがあり各種お問い合わせをメールでも承れます。併せて安善寺のインスタグラムも開設いたしましたので是非ご覧いただき活用していただければと思います。



蔵王山 安善寺 検索

法要オンラインのご案内

昨今、コロナウイルスの影響等でお寺やご自宅で法事を行う際に遠方のご家族や親戚でどうしてもその場に来れないということが増えてまいりました。当然本来であればお出でいただきお参りしていただくのがありがたいですが、やむを得ない場合は Zoom や LINE などのオンラインにてご法要にご参列いただければと思います。

オンラインで参加の際は基本的にどなたもお出でになつていらっしゃる方の携帯電話やタブレットで繋いでいただきます。オンラインをご利用の方はお寺の WiFi をご利用ください。またご希望の方には三脚をお貸しいたします。現状はあくまでやむを得ない場合のみのご利用をお願いいたします。

団体参拝旅行のご案内

毎年行っている安善寺団体参拝旅行も昨年はコロナウイルスの影響で止む無く中止させていただきました。つきましては本年は昨年と同じ奈良方面の団体参拝旅行を左記の日程で企画しております。

行程の詳細や申込用紙は次回季刊誌に同封いたしますがまずもって日程のみご案内させていただきます。

記

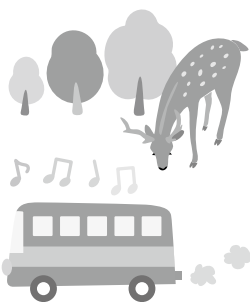
令和三年

十一月十四日(日)～十六日(火)

二泊三日

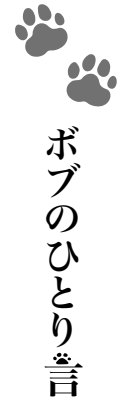
以上

コロナウイルス感染状況により開催に是非を含めた内容変更になることをお含みおきください。





歯の手入れは大事だニヤ〜ん！



ピンポン、インターホンが鳴る度にモモは吠える。家を守っているつもりなのだろうが、こちらは毎度眠りを妨げられて困っている。めったにないことなのだが私のエリアに侵入してきて立派な犬歯を私にむけることがある。

その時は猫パンチ&猫キックで応酬だ。犬歯は猫にもあるのだが猫歯とはいわない。そこは納得いかないが、ともかく私にも二本…あつた…悲しいことに歯槽膿漏のせいで犬歯を1本失ったのだ。



1本残った大事な犬歯

その上、歯ぐきは腫れるは出血するやらで久美さんは病院へ何度も通う羽目に。食べることもできず…と言いたいところだが食欲には勝てない。しかも今までは決められたカリカリキャットフードだったのだが、薬を混ぜなければならぬので缶詰をもらえるようになったのだ。これがまたおいしくてたくさん食べたのだが、糖尿病なので量をもらえない。ニヤ〜ニヤ〜としつこく訴えてももらえないときは子供

たちが勉強しているところに行つてノートの上に座り込む。これは効果てきめん。

これでもダメなときは最も恐れられている、すねてあちこち粗相をしてまわる策。

これが恐くて近頃の久美さんはあきらめモードでごはんをくれるのである。私も人間同様、歯磨きをしていけば歯を失わなかったかもしれない。

真人君、悠真君は先日歯科定期検診に行つた際、歯磨きの仕方を注意されたようだ。

さいわい虫歯はなかったのだが、普段二人がおやつをたくさん食べている姿を見るかぎり、私のようになる日は近いのではないかと心配になる。

私はトラやライオンと同じ仲間だ!!ガオーとモモを威嚇するためにも1本残つた大事な犬歯を守り抜かねばならない。まだまだモモに負けてられないニヤ〜ん!

編集 雑感

コロナのワクチン接種が始まりました。先日、母が集団接種に、さいわいプラザに行ってきました。思ったほど混んでもなく、スムーズに接種出来て、30分ほどで終わったとの事でした。打つた所が数日間、多少違和感があったようですが、特に問題もなかったそうです。次回が3週間後との事で、7月上旬に終わる予定です。先日、菅首相が会見で、ワクチン接種を日本国民に、11月までに終わらせるとの事ですから、もう少し、我慢しなければならぬですね。ところで、東京オリンピックがよいよ今月になりました。

お便り原稿用紙

皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。

FAX 0258-32-2870

〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com

HPにも申込フォームがあります

た。開催については、賛否が分かれると思いますが、開催の方向で動いているようです。また、観客を入れるか入れないかについては、選手の想い、オリンピック関係者の想い、医療関係者の想い、スポンサー企業の想い等様々な立場からの想いがあるかと思いますが、いずれにしてもその思いは、全て日本国民が組んで頂きたいと思えます。

新潟県からは、マラソンの服部選手、スケートボードの平野選手、バスケットボールの富樫選手、セーリングの富澤選手等が出場します。

7月23日から8月8日迄の17日間、パラリンピックは8月24日から9月5日の13日間、新潟県の選手をはじめとして、日本選手をテレビの前で、応援したいと思えます。

今回は、5年ぶりのオリンピック、後にも先にもないオリンピックとなり。『負けるなニッポン、頑張れニッポン!!』

(屋代 健)



第九十五号、秋号は令和三年九月十日(金)発刊予定です